

座・高円寺 2026年度ラインアップ発表！

& リニューアルシンボル掲出、新体制始動のお知らせ



このたび、杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」（東京都杉並区／指定管理者: 合同会社syuz'gen）は、**2026年度ラインアップを発表、あわせて劇場のリニューアルを象徴するシンボルを解禁します。**本日、新指定管理者のもとでの新たな運営がスタートした座・高円寺は「すべての人の文化創造拠点」を目指し、シライケイタ芸術監督のもと、世界水準の舞台芸術と地域密着型創作を展開します。2026年度の**主催8プログラム**は、**4月29日（水・祝）よりアーティスト梅田哲也が劇場開館時からの記憶を継承する新作パフォーマンス作品『空洞』を上演するほか、日本と韓国の劇団による国際共同製作作品、劇団温泉ドラゴン×劇団国道58号線『長生炭鉱一生活きたかった』を6月中旬に、さらにこれまでの取り組みの継承・発展を目的に、シライケイタによる代表作『夏の夜の夢』を9月13日（日）～、『トロイメライ』を12月下旬に上演。**また、**アジア圏と日本のアーティストによる国際共同アートキャンプ**を予定。加えて、4月4日まで参加者を募集している演技訓練プログラム「座・高円寺 演技アカデミー」の**修了上演を2027年2月下旬に予定**しています。**提携事業においては日本劇作家協会プログラム、日本演出者協会セレクション、公募作品を含む27公演を予定。**座・高円寺は、これらの優れた舞台芸術の鑑賞事業において鑑賞体験の質的向上を目指しています。そのほか演技アカデミーに代表されるプロフェッショナル人材の育成を目的とした事業や区民文化活動支援等を通じ、地域の芸術文化の普及振興に取り組みます。また座・高円寺が提供してきた2Fのカフェを「まあるいカフェ」に改称（4月9日再オープン予定）するほか「座の市」やお得な「なみちけ」サービスのリニューアルにも取り組みます。

本リリースに関するお問い合わせ：杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」（指定管理者:合同会社syuz'gen）

広報（湯川、染谷）MAIL: press@syuzgen.com

〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 TEL: 03-3223-7500 FAX: 03-3223-7501 公式ウェブサイト <https://za-koenji.jp/>

座・高円寺 芸術監督より

2026年度、座・高円寺が新たな一歩を踏み出します。

今年度より、座・高円寺を運営する指定管理者が、特定非営利活動法人劇場創造ネットワークから合同会社syuz'genに変わることになりました。劇場創造ネットワークが区民の皆様と作り上げてきた魅力あふれる座・高円寺を、新指定管理者と共に更に輝く劇場へと飛躍させたいと思います。杉並区を、豊かな文化の発祥の地にするべく、座・高円寺の新たな扉を開け、文化の泉の湧き出る土壌を区民の皆様と共に耕していきたいと、心から願っています。そのための大きな方針を以下に記し、劇場の目指す未来を共有します。

芸術監督就任以来、私が掲げてきた「世の中のあるべき姿をまず劇場が創っていく」という大きなスローガンを、これまで以上に強く、より具体的に実現していきます。私の考える「世の中のあるべき姿」とは大きく二つあります。

一つ目は「誰も切り捨てられることのない世界」です。その実現のために『コンプライアンスの徹底』『アクセシビリティの充実』『区民に開かれた劇場運営』という大きな3つの柱を掲げます。コンプライアンスの徹底にはハラスメント対策も含まれます。誰もが安心・安全な環境で生きていける社会、公正で公平な社会、誰も飢えることが無く未来に夢を持てる社会の実現のために、座・高円寺が理想に向けて最大出力で走り出します。

もう一つは「戦争のない世界」です。武力で他者をねじ伏せようとする戦争は、対話と祈りの行為である舞台芸術の対極にある行いです。座・高円寺は、舞台芸術を追求することを通じて、戦争のない世界の実現にむけて微力ながら尽力していきたいと思います。

次に、具体的な運営方針を5つ挙げさせていただきます。

1 【「多様性」から「インクルージョン」へ】

劇場が、人々の集まる場所としての「広場」であるとともに、集まった人たちと共に生き、それぞれの個性が活かされる場所になっていきたいと思います。杉並区民はもちろん、人種・民族、障害の有無、性別・ジェンダー、年齢などを超えて、あらゆる人が垣根なく集まり、ともに在ることができる場所を目指します。

2 【「広く」開いた劇場から「遠く」まで届く劇場へ】

座・高円寺の取り組みや魅力を、区外や国外まで届けるべくアピールしていき、文化芸術界、国際社会において、誇りある唯一無二の劇場にしていきたいと思います。そのことが、全ての杉並区民の誇りであり続けることを目指します。

3 【国際交流の強化】

戦争や分断の加速する世界において、対話の芸術である舞台芸術を媒介にして、諸外国とのコミュニケーションを活発にしていきたいと思います。韓国・台湾・アジア各地との交流を強化し、更に遠い国々へと広げ、平和で文化的な杉並の未来を区民の皆様と共に創り上げていくことを目指します。

4 【人材の育成】

杉並の文化、そしてこの国の文化を支え発展させていく人材の育成に力を入れていきたいと考えています。能力を育てるだけでなく、文化芸術全般に対する造詣を深め、文化芸術を愛し、座・高円寺の未来を支えてくれる存在を育成したいと思います。劇場の魅力と共に創り上げ、更なる発展に寄与してもらおう仲間と呼べる人材を育てていきたいと思っています。

5 【世界に通じる高い水準の舞台芸術の創作・上演】

国内外のあらゆるアーティストが目指す劇場にしたいと思っています。高い水準の舞台芸術が座・高円寺に集まることで、杉並区の文化水準を押し上げ、全ての杉並区民の誇りとなる劇場を目指します。

以上が、劇場の目指す大きな方針です。

今年度も魅力的なプログラムが並びました。昨年度までとの大きな変化として、「日本演出者協会セレクション」と銘打ったプログラムが新たに創設されました。会員数500人を超える、日本唯一の演出家団体である日本演出者協会が厳選したプログラムが並びます。これまで劇場を支えてきてくれた「日本劇作家協会プログラム」と並び、新しい座・高円寺の魅力と共に創出してくださる仲間の参入に、期待が膨らみます。

ここから、新事業者syuz'genの皆と対話を重ね、知恵を絞り、想像力と創造力を駆使して、新しい座・高円寺の魅力を沢山創出していきたいと思っています。全ての杉並区民の皆様にとって誇れる劇場であり続けるため、そしてこの国の文化芸術の更なる発展のために、より刺激的で開かれた劇場にしていきたいと思っています。2026年度の新しい座・高円寺を、何卒よろしくをお願いします。

2026年4月

座・高円寺 芸術監督

シライケイタ

プロフィール



シライケイタ

1974年生まれ。演出家、脚本家、俳優。

蜷川幸雄演出「ロミオとジュリエット」のパリス役で俳優デビュー。その後、野田秀樹、木村光一、鐘下辰男など、数々の演出家の舞台に出演。平成22年、劇団温泉ドラゴン旗揚げ公演に、自らの初戯曲となる『escape』を提供。以降、同劇団内外で数々の脚本・演出を手掛ける。日本演出者協会理事長、日韓演劇交流センター会長。

座・高円寺 2026年度ラインアップ

日程	区分		公演タイトル	詳細
2026年 4月8日(水)～5 月17日(日)	主催		ギャラリーおちらしさん特別展 in 座・高円寺	地下2F 区民ギャラリーで開催 企画：株式会社ネビュラエンタープライズ
2026年 4月8日(水)～12 日(日)	提携	日本演出者協会 セレクション	ドナルカ・パッカーン 『女の一生』 戦時下の初稿版完全上演	作：森本 薫 演出：川口典成 音楽：河崎 純
4月25日(土)・ 26日(日) 12:00～18:00	提携	地域	第18回高円寺びっくり大道芸2026～継承～	高円寺各所で開催
4月29日(水・ 祝)～5月17日 (日)	主催		梅田哲也『空洞』	
5月20日(水)～ 31日(日)	提携	日本劇作家協会 プログラム	劇団扉座 第81回公演 『愚者には見えないラ・マンチャの王様の裸』	作・演出：横内謙介
6月中旬	共同主 催	国際	劇団温泉ドラゴン × 劇団国道58号 日韓共同製作『長生炭鉱一生涯たかった』	作：キム・ミンジョン（劇団国道58号 ／韓国） 演出：シライケイタ（劇団温泉ドラゴン ／日本）
6月19日(金)～ 28日(日)	提携	公募作品	演劇実験室●万有引力●第80回本公演 演目調整中	演出・音楽・美術：J・A・シーザー 構成・共同演出：高田恵篤
7月2日(木)～5 日(日)	提携	公募作品	大駱駝艦 壺中天 舞踏公演 銚久奈緒美『死者の書』	振舞・演出・美術：銚久奈緒美
7月9日(木)～12 日(日)	提携	公募作品	花組芝居 『レッド・コメディ～赤姫祀り～』	脚本：秋之桜子 構成・演出：加納幸和
7月下旬～8月初旬	主催		高円寺プレイグラウンド（仮）	
8月7日(金)～11 日(火・祝)	提携	日本劇作家協会 プログラム	劇団だるめしあん 25周年記念公演 『ラビデオロジーは突然に〈劇場版〉』	作・演出：坂本 鈴
8月14日(金)～ 18日(火)	提携	日本演出者協会 セレクション	OFFICE STOMP ミュージカル『雲母紙鳶 KIRANOTOBI』	脚本・作詞・作曲・演出：藤倉 梓

8月21日（金）～ 25日（火）	提携	公募作品	糸あやつり人形 一糸座 創作人形浄瑠璃『新羅生門』	作・演出：横内謙介（劇団扉座）
8月29日（土）・ 30日（日）	提携	地域	東京高円寺阿波おどり関連企画 夏の座・高円寺阿波おどり@座・高円寺1	
9月13日（日）～ 10月17日（土）	主催		『夏の夜の夢』 （杉並区小学4年生の招待公演あり）	原作：ウィリアム・シェイクスピア 上演台本：岩崎う大（かもめんたる） 演出：シライケイタ 出演：山崎薫、木ノ下藤吉、滝本圭、西脇将伍、坂本夏帆、峰一作、ぎたろー／田中結夏（舞台手話通訳）
10月19日（月） ～25日（日）	提携	公募作品	Dance Now Asia Fes in Tokyo ～アジアの都市を巡るダンスフェス～	キュレーター：竹屋啓子 参加国：台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、香港、フィリピン他
10月24日（土） ・25日（日）	提携	地域	第20回 高円寺フェス2026	
10月28日（水）～ 11月5日（木）	提携	日本劇作家協会 プログラム	wonder×works『アカメ』	作・演出：八鍬健之介
11月9日（月）～ 18日（水）	提携	日本劇作家協会 プログラム	カムカムミニキーナ『ゴールド饅頭』	作・演出：松村武
11月21日（土） ・22日（日）	提携	公募作品	東京都高校演劇連盟 第80回 東京都高等学校演劇コンクール中央発表会	
11月26日（木） ～12月3日（木）	提携	日本劇作家協会 プログラム	プリエール『貧乏大臣大大臣（仮）』	作：竹田モモコ（ばぶれるりぐる） 演出：土田英生（MONO）
12月8日（火）～ 13日（日）	提携	日本劇作家協会 プログラム	ももちの世界『タイトル未定』	作・演出：ピンク地底人3号
12月中旬～下旬	主催	国際	アジア圏と日本のアーティストによる国際共同アートキャンプ（タイトル未定）	
12月下旬	主催		ピアノと物語『トロイメライ』	作・演出：シライケイタ
2027年1月8日 （金）～1月10日 （日）	提携	公募作品	Co. Ruri Mito 三東瑠璃『新作ソロ』（タイトル未定）	演出・振付・出演：三東瑠璃

1月15日（金）～ 17日（日）	提携	日本劇作家協会 プログラム	果てとチーク『くらいところからくるばけものはあ かるくてみえない』	作・演出：升味加耀
1月20日（水）～ 24日（日）	提携	日本演出者協会 セレクション	企画集団マッチポイント 『スリーウインターズ』	作：テーナ・シュティヴィチッチ 演出：松本祐子
1月27日（水）～ 31日（日）	提携	公募作品	日韓演劇交流センター 『韓国現代戯曲ドラマリーディング ネクストス テップVol.3』	
2月4日（木）～2 月7日（日）	提携	日本演出者協会 セレクション	CHAIroiPLIN おどる詩集『2000000000 orz』（仮）	作・振付・構成・演出：スズキ拓朗
2月10日（水）～ 14日（日）	提携	公募作品	劇団かもめんたる×かもめんたる 『UFO男（仮）』	作・演出：岩崎う大
2月10日（水）～ 14日（日）	提携		第18回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバ ル	
2月20日（土）・ 21日（日）	提携	地域	高円寺演芸まつり『座・高円寺寄席』	※演芸まつりは2月12日（金）～21日 （日）高円寺各地で開催予定
2月下旬予定	主催	育成	座・高円寺演技アカデミー 修了上演『（演目未定）』	演出：シライケイタ（予定）
3月4日（木）～9 日（火）	提携	日本劇作家協会 プログラム	あやめ十八番『浮寝鳥（仮）』 作・演出：堀越涼	作・演出：堀越涼
3月中旬	提携	日本劇作家協会 プログラム	オフィス鹿 『私は頼まれてものを云うことに飽いた。』	作・演出：丸尾丸一郎

※日本劇作家協会プログラム：杉並区とパートナーシップ協定を結ぶ日本劇作家協会が、会員の応募作の中から推薦

※日本演出者協会セレクション：日本演出者協会が、会員からの提案企画（応募作品）の中から推薦

※公募作品：上演作品を公募し、応募作の中から芸術監督を中心に座・高円寺が選定したプログラム

座・高円寺 演技アカデミー 2026年度参加者募集中（4月4日締切）

教育・啓発事業として、2009年の開設以来、2年制のプログラムで150名以上の舞台芸術人材を育成してきた座・高円寺の「劇場創造アカデミー」。2026年度は、アクセシビリティ・アウトリーチなど、演劇と社会を繋ぐ視点をより深め、1年制の「座・高円寺 演技アカデミー」として、5月開講。

詳細は、座・高円寺 公式ウェブサイト参照 <https://za-koenji.jp/>

春から始まる新たなサービス

「まあるいカフェ」4月9日（木）リニューアルオープン（予定）

2階のカフェ「アンリ・ファール」は名称を「まあるいカフェ」に変えてリニューアル！シェフは変わらず、すぎなみ野菜を使ったメニューはそのまま楽しめます。

「座の市」から「劇場前マルシェ」へ

座・高円寺の入口前広場で毎月第三土曜日に開催してきた、たべもの市場「座の市」は地域とアート・カルチャーを繋ぐ「劇場前マルシェ」へと生まれ変わり、劇場前で定期的にイベントを開催します。

「なみちけ」から「杉並区民割引」へ

いつでもお得に観劇できる回数券システム「なみちけ」に代わり、杉並区在住・在勤・在学の方は、座・高円寺で上演する主催・提携公演をお得な割引料金で鑑賞できる「杉並区民割引」を始めます（割引額は公演によって異なります。座・高円寺ボックスオフィスにて販売、入場時要証明書提示）。

座・高円寺 リニューアルシンボル

リニューアルシンボルについて



「すべての人にひらかれた劇場」をコミュニケーションコンセプトとして、デザインは、デザインスタジオ「emuni」が手がけました。劇場の原型のかたちである「芝居小屋」から着想を得たテント型のシンボルマークに、全ての線が正円の円弧で構成された「座」のロゴタイプ。力強さを持つテントと、ゆるやかで定型化されない文字。その対比によって座・高円寺をかたちづくりします。開館以来愛されてきた「オリジナルロゴ」と共に、劇場のリニューアルを象徴するシンボルとして広く発信していきます。

座・高円寺 オリジナルロゴマークについて



座・高円寺のロゴマークは、杉並区名誉区民である小柴昌俊博士の筆による「座」の文字を活かし、杉並区とデザインに関する連携協定を結んでいる女子美術大学短期大学部造形学科の佐藤真澄准教授が考案しました。「座」の文字を囲む柔らかな円い形は、この場所に人が集まり座をつくり、新たな文化を創り出していくことをイメージしています。

座・高円寺について

杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」は、演劇・舞踊等の舞台芸術を創造し、発信するとともに、区民に多様な文化活動の場と機会を提供する、地域に根ざした芸術文化活動の拠点施設です。優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、舞台芸術の普及・向上を図る環境をつくるとともに、全ての年代の区民を対象とした文化活動や交流の場を提供しています。また、地域の振興とまちづくりの視点を持ち、高円寺地域の個性と結びついた文化の創造と発信を行い、区民との協働による施設運営を進めています。

2026年4月から指定管理者が「合同会社syuz'gen（シュツゲン）」に変わり、以下の通り新たにMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）、事業の方向性を策定しました。

【MVV（ミッション・ビジョン・バリュー） | 座・高円寺のめざすこと】

- **ミッション**：劇場から、想像力を耕す
- **ビジョン**：まだ知らない隣人と、まだ知らない自分に出会う場所
- **バリュー（行動指針）**：つくる（＝前例のないことを恐れない。既存のモデルの「つぎはぎ」ではなく、自分たちの手で新しい劇場の形をつくる）、風を通す（＝情報も、成果も、失敗も共有する。閉じることで守るのではなく、開くことで強くなる）、日常であること（＝ここは特別な場所ではなく、日常の一部。敷居ではなく、地続きの道をつくる）、対話から始める（＝「ルール」「できない」で終わらない。「どうすれば実現できるのか」を共に探す）、知らないことから始める（＝知らないことは、言い訳にもならないし、恥でもない。自分が知らない可能性をつねに想定し、学び続ける姿勢を手放さない）、大切にする（＝ここに関わるすべての人の存在を尊重する。表現の自由は、そこにいる人の安全と尊厳の上にある）

【4つの営み — 座・高円寺のすること】

- **出会う**：他者と出会い、自分自身と出会い直す場。劇場での出会いは、外の世界と内の世界、その両方に向かってひらかれます。
- **種をまく**：観て、感じて、問いを持ち帰る。劇場が手渡すのは答えではなく、日常に帰ったあとも続いていく思考の種をまきます。
- **育つ場をつくる**：劇場にできるのは、育てることではなく、育つための場を整えること。ここでの経験を通じて、それぞれの次へ踏み出していく。その循環を支え続けます。
- **ともにつくる**：劇場は劇場だけではつくれません。高円寺の街と人の中に根を張り、地域と一緒に、この場所の意味を育てていきます。

【事業の方向性 — 座・高円寺の4本柱】

- **舞台芸術の創造と上演**：自主企画制作、パートナーシップ公演、国内外のアーティストとの協働。同時代の表現に向き合い、想像力を揺さぶる作品を観客に届ける。
- **学びと人材育成**：アカデミー、ワークショップ、アーティスト育成プログラム。づくり手も観客も、ここで学び、育つ場を整える。

- **社会に開く**：アクセシビリティの推進、子ども・若者向けプログラム、多言語対応。年齢、障害、言語、経験の有無を問わず、すべての人が劇場にアクセスできるようにする。
- **地域と世界をつなぐ**：高円寺の街との連携、国際交流プログラム。ローカルに根を張りながら、国境を越えた対話の回路をつくる。

本リリースに関するお問い合わせ：

杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」（指定管理者:合同会社syuz'gen)

広報（湯川、染谷）MAIL: press@syuzgen.com

〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 TEL: 03-3223-7500 FAX: 03-3223-7501 公式ウェブサイト <https://za-koenji.jp/>

SNSアカウント ＊4月2日（木）17時～

●座・高円寺 公式：

X（旧Twitter） https://x.com/za_koenji_WEB

Instagram https://www.instagram.com/za_koenji/

●まあるいカフェ 公式

X（旧Twitter） <http://x.com/MaaaruiCafe>

Instagram <https://www.instagram.com/MaaaruiCafe>